

# Acueil News

令和6年 1月号 (第119号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 担当 下田・岩崎

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511

謹賀新年

今年のご入居者とご家族が、笑顔あふれる年になるように、職員一同がんばってまいりますので、  
よろしくお願いいたします。

新年のご挨拶

施設長 渡邊 豊

令和六年を迎え年頭のご挨拶を申し上げます。能登半島地震により、犠牲になられた方々へのご冥福をお祈りし、被害にあわれました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、被災地での生活の一日も早い復旧と復興を祈念いたします。

元日から、スマートホンの緊急地震速報がけたたましく鳴り響きました。妻と子供と外にいましたが、電線の揺れを見ながらしばらく大きな揺れが来ないか備えていました。幸いにして我孫子は、震源地から遠く被害はありませんでしたが、いつ何時、災害に見舞われるかわからないということを年の初めに教えてもらった気がしました。輪島市の特養の職員が食料や灯油がなくなってしまうという内容の、手書きのボードを掲げてSOSを出している記事を見ました。アクイールも、万が一、災害が起きたとしても、事業をストップすることは出来ません。BCP（事業継続計画）に基づき行動ができるよう、日常の訓練、備えをしておかなければならないと再確認しました。私たち法人職員は、「我孫子市の福祉を支え、皆さまの未来ある生活の一助を担うこと」を使命としています。アクイールは、我孫子市と災害時福祉避難所設置運営協定を締結するなど地域の皆さまの全安心のために一丸となって防災対策に努めています。

昨年ブレイクしたお笑いタレントのやす子さん、自衛隊での経験を踏まえ、寒さの凌ぎ方を専門的な観点から発信して注目を集めていました。また、「一般人の方がボランティアに行こうとして、交通渋滞が起きたら、緊急車両が入れずに助かる命も助からなくなる。今皆がいる場所で精一杯日常を生きるのが大切。」とコメントしていました。その言葉に共感された方も多かったでしょう。私たちは、災害が起きたときだけでなく、常に自身の生活を大切に生きていくことです。普段、何気なく生活している、何気なく仕事をしていることもあろうかと思いますが、「精一杯」とは、持っている力をすべて出すことであります。アクイールも昨年の九月に十周年を迎えました。開設から十年で培った経験や知識、積み重ねてきた技能などを力の限り、利用者、ご家族、地域の方々に還元させていただきたいと思っております。

ドジャースに移籍した大谷翔平選手が、子供の未来のため、野球界のために全国の小学校にグローブを寄贈したり、いち早く被災地に寄付をしたりと、彼の持っている力を懸命に出しています。スケールは違いますが、職員一人一人が自分でできることを「精一杯」行う一年にしていきますので、本年もご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、今年も、パリオリンピックの年であります。利用者の皆さんと熱い戦いをテレビの前で一緒に観戦することを楽しみしながら新年の挨拶とさせていただきます。





豪華なおせち料理に、毎年恒例となりました、施設長の着物姿、今年は今井ケアマネージャー、陰山栄養士も着物姿で新年の挨拶と共にお屠蘇回りを行いました。

瀧前不動のライトアップ終了後に、今年も竹灯籠を設置してくださいました。NPO 住み良いまちづくり研究所のみなさま、素敵な竹灯籠がありありがとうございます。竹灯籠の灯火で幻想的な雰囲気にもまれたアキールをご家族のみなさまも是非見に来てください。



今年のおせち料理

## アキールもちつき大会



12月28日 毎年恒例となりましたもちつき大会が開催されました。ここ数年はコロナ禍で、順番に見学しなければならず寂しいもちつき大会でしたが、今年は人数制限もなくご家族やご入居者、キッズルームのこども達も参加し盛大なもちつき大会になりました。



甘酒美味しいよ



## 柴崎神社初詣



天照皇太神宮へ初詣(アキールの近く都部新田にあります)



かき初めをしました